

## ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2003年7月1日

2003年6月29日現在：

6月29日に終わる週では各地に降雨があり、気温は下がり平均気温は各地で平年を5~9度F下回った。全州で最も高かった最高気温は81度であった。1週間お降雨量は、州北西部から南西部では0.34~0.78インチ、中央部から東部1.23~2.17インチ（南東地区=CE）であった。水分過多の圃場では病害の発生が心配される。1週間の州平均農作業日数は、4.7日であった。

6月29日現在、硬質春小麦は64%の圃場にて穂孕み期に入り（昨年同期：46%、平年：53%）、37%で出穂した（昨年同期：26%、平年：30%）。デュラム小麦の37%の圃場が穂孕み期と成り（昨年：13%、平年：23%）、15%の圃場にて出穂した（昨年：3%、平年：8%）。硬質春小麦並びにデュラム小麦の作柄は降雨にもかかわらず前週の状況を保った。生育は昨年並びに過去5年平均（平年）より早く、作柄は良好である。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	2	10	72	16
Last week (%)	2	8	77	13
Last year (%)	18	24	51	7
Average (%)	4	9	74	13

Subsoil

This week (%)	2	13	71	14
Last week (%)	2	12	75	11
Last year (%)	14	24	55	7
Average (%)	4	11	72	13

Average: 1998~2002年平均

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Durum				
Jointing (%)	69	47	54	57
Boot (%)	37	15	13	23
Headed (%)	15	6	3	8
HRS wheat				
Jointing (%)	88	71	78	80
Boot (%)	64	41	46	53
Headed (%)	37	17	26	30

次ページに続く。

小麦作柄状況：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Durum wheat (%)	0	1	9	64	26
HRS Wheat (%)	0	2	12	60	26

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)